

平成31年1月31日

立正大学同窓会
代議員 各位

立正大学同窓会
選挙管理委員会
委員長 大塚 博

公 示

平成30年11月10日付『告示』のとおり、平成30年12月7日に立正大学同窓会会長立候補者の届け出を締め切り、2名の立候補を受け付けました。

選挙管理委員会では「選挙管理委員会申し合わせ」第4条第4項の規定に従い、候補者名をここに公示いたします。

なお、候補者2名につき、平成31年2月16日の代議員会において報告のうえ、出席代議員による選挙・承認の運びとなります。

記

会長候補者
齊藤 岐代未
西岡 勇治

受付順・敬称略

以 上

趣意書

激化する大学を取りまく状況の中、大学と共に同窓会は変革していく必要がある。そこで私は次の点を課題と
とらえ、その解決を目指し、会長選挙に立候補する決意をいたしました。

「同窓会組織の見直し」平成29年アンケート調査結果を踏まえて同窓会の役割や制度運用の在り方を幅広
く検討する。立正独自の強みを、学部・支部がより一層発揮できる仕組みづくりを目指す。

「大学と同窓会との連携強化」双方の協力体制強化のため、大学運営同窓会参加について協議を求めていく。
具体的には、定期的あるいは、定例的な窓口設置を求めていく。

「健康、財務と運営の確保」①財務の透明性の確保を主眼として、学部支部への補助金支給額を機械的平等から
具体的平等へ転換する。②経営戦略については、将来どんな組織行動をとるべきなのかを描けるよう支援をしていく。

私は、大学・同窓会はそれぞれの立場を尊重しつつ、連携を深め相乗的に発展・成長・成果を高める鍵は「人」
です。①「人を繋ぎ」②「知」の集積を課題解決と成長への創出に活かし③「改革を成す」以上、

同窓会現場の声に耳を傾け、着実に進めてまいります。

平成 30年 11月 27日

立正大学同窓会

会長候補

(氏

名 齊藤 岐代未

趣意書

このたび私、西岡勇治は、立正大学同窓会の会長に立候補させていただき決意を固めました。

私は同窓会本部の総務委員長を六年間務めさせていただいております。この間、同窓会発展のため、或いは、活ある支部活動を推進するためには、いろいろな制度や活動、そして予算配分等を、同窓会の在り方そのものを見直し、改革をしていかなければ、「活ある活動」は推進できないと考えるに至りました。

また、大学を取り巻く現状を考えますと、現役の学生の勉学への奮闘はもとより、教職員の熱意ある姿勢、そして特に各地で奮闘する同窓生の活力と大学への積極的支援が、今後ますます重要になってくるという状況です。

立正大学をオール立正として覇気ある大学として盛り立てていくには、元気の大学、元気の学生、元気の同窓生という三位一体の「元気」が絶対に必要です。これを實現するため、我々が取り組むべきは、元気の同窓生、元気の同窓会を再生することです。自信をもって立正大学の同窓生であるといえる同窓会を、立正大学を創造していくにはありませんか。

それらを実現するため、西岡勇治は、最大限の努力をする覚悟を持って望む所存です。

平成三十年十二月五日

立正大学同窓会 会長候補

西岡 勇治